

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月10日

上場会社名 タメニー株式会社 上場取引所 東
コード番号 6181 URL https://tameny.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗沢 研丞
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部副本部長 (氏名) 伊東 大輔 TEL 03-5759-2700
定時株主総会開催予定日 2024年6月19日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2024年6月20日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期の業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	5,598	40.4	77	-	27	-	3	-
2023年3月期	3,988	△4.2	△39	-	△114	-	△804	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	0.13	0.13	2.4	0.6	1.4
2023年3月期	△32.19	-	△170.2	△2.2	△1.0

（参考）持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

（注）2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	4,858	149	3.1	5.69
2023年3月期	5,022	145	2.9	5.55

（参考）自己資本 2024年3月期 149百万円 2023年3月期 145百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	558	8	△193	1,691
2023年3月期	-	-	-	-

（注）当社は、2023年3月期は連結業績を開示しておりましたが、2024年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年3月期のキャッシュ・フローの状況は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期（累計）	2,794	8.2	△97	-	△120	-	△120	-
通期	6,400	14.3	200	158.7	150	450.7	150	-

（注）当期純利益の通期増減率は、1,000%以上となるため、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期	26,265,100株	2023年3月期	26,259,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期	129株	2023年3月期	129株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	26,264,096株	2023年3月期	24,998,628株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(持分法損益等)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18

1. 経営成績等の概況

当社は、2023年3月31日付で完全子会社であったタメニーアートワークス株式会社を吸収合併し、2023年4月1日より完全子会社であるタメニーエージェンシー株式会社を重要性の観点から連結対象から除外しました。これに伴い、2024年3月期（以下、「当期」）より非連結決算へ移行しています。

(1) 当期の経営成績等の概況

当社は、「よりよい人生をつくる。」という企業理念と、「創造する力とおもいやり、おもてなしで、人々の心を満たし、活力ある社会の実現を支えます。」という存在意義（パーパス）のもと、婚活、カジュアルウェディング、ライフ&テック、地方創生領域において、お客様が求める独自サービスを創出し、提供しています。

当期は各事業とも概ね計画通り進捗し、カジュアルウェディング事業も収益が伸長したことから、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも黒字となりました。なお、原状回復費用の超過分に加え、一部店舗資産等の将来の回収可能性を検討し、減損損失64百万円を特別損失に計上するとともに、繰延税金資産の回収可能性を検討し、繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額（△は益）△16百万円を計上しました。

この結果、当期の売上高は5,598百万円、営業利益は77百万円、経常利益は27百万円、当期純利益は3百万円となりました。また、当社の重要な経営指標と位置付けるEBITDA（営業損益に償却費を加えて算出）は458百万円となりました。

なお、前期個別決算と比較すると、タメニーアートワークス株式会社の吸収合併に伴い売上高が前期比40.4%増となり、前期連結決算と比較すると、前期に法人向け事業を譲渡したことから売上高が前期比0.1%減となりましたが、いずれも営業利益、経常利益、当期純利益は大幅な改善となりました。

当社の報告セグメントごとの概況は次のとおりです。

なお、当期より従来の「テック事業」「ライフスタイル事業」を統合し「ライフ&テック事業」とし、「法人・自治体向け事業」を法人向け事業の譲渡に伴い「地方創生事業」としています。

(婚活事業)

主に付加価値の高い結婚相談所「パートナーエージェント」と婚活パーティー「OTOCON」を展開しています。

当期については、「パートナーエージェント」は各種キャンペーン等により資料請求が増加したものの、10-12月の閑散期に新規入会者数が落ち込み、在籍会員数が前期末から若干の減少となりました。なお、第4四半期より広告集客の最適化、営業体制の強化、サービス品質の改善等に着手しており、これらの効果により、次期以降は新規入会者数及び在籍会員数が増加に転じる見込みです。この結果、売上高は2,117百万円、営業利益は529百万円となりました。

<同事業の主要指標>

	2023年 3月期	2024年3月期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
新規入会者数	4,716名	1,300名	1,164名	955名	1,182名	4,601名
成婚退会者数	2,216名	470名	442名	481名	442名	1,835名
成婚率	24.5%	22.0%	20.6%	22.7%	21.5%	21.7%
在籍会員数（期末）	8,568名	8,583名	8,554名	8,177名	8,160名	8,160名
パーティー開催数	4,517回	893回	757回	726回	759回	3,135回
パーティー参加者数	50,289名	9,880名	7,926名	7,682名	7,912名	33,400名

(注) 1. 成婚とは、当社のサービスを利用して知り合った会員同士が、結婚を視野に入れ交際を継続していくことをいい、当社が成婚の意向を双方の会員から確認した場合に、当該会員は成婚退会となります。

2. 成婚率とは、在籍会員中何名の会員が成婚退会しているか、その割合を示すものです。具体的には、成婚率は、毎年4月1日から翌年3月末までを計算期間とし、以下の計算式にて算出しています。

(計算式) 「年間成婚退会者数」÷「年間平均在籍会員数」

3. 成婚率は、小数点第二位を四捨五入しています。

(カジュアルウェディング事業)

主にカジュアルな挙式披露宴・少人数挙式等プロデュース「スマ婚シリーズ」、フォトウェディングプロデュース「LUMINOUS」、結婚式二次会プロデュース「2次会くん」を展開しています。

当期については、「スマ婚シリーズ」と「2次会くん」は挙式披露宴や結婚式二次会の需要回復に後押しされ、成約件数、施行件数、施行単価のいずれも前期から増加となりました。また、「LUMINOUS」は通期の成約件数、施行件数が前期から減少したものの、7月以降にスタジオリニューアルやエリア毎の戦略最適化を推進したことで、第4四半期（1-3月）の成約件数、施行件数が前年同期から増加となりました。この結果、売上高は3,047百万円、営業損失はのれん償却費152百万円を計上し43百万円となりました。

<同事業の主要指標>

	2023年 3月期	2024年3月期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
成約件数合計	6,456件	1,539件	1,731件	1,574件	1,844件	6,688件
スマ婚シリーズ	695件	217件	201件	135件	183件	736件
(うち挙式披露宴)	332件	102件	82件	86件	99件	369件
LUMINOUS	4,800件	1,018件	1,080件	1,081件	1,224件	4,403件
2次会くん	961件	304件	450件	358件	437件	1,549件
施行件数合計	5,870件	1,364件	1,255件	1,683件	1,658件	5,960件
スマ婚シリーズ	601件	124件	142件	199件	168件	633件
(うち挙式披露宴)	247件	59件	64件	87件	85件	295件
LUMINOUS	4,526件	977件	851件	1,046件	1,126件	4,000件
2次会くん	743件	263件	262件	438件	364件	1,327件

(ライフ&テック事業)

主に生活品質向上に資するサービス（保険販売、金融・不動産紹介等）の提供と、婚活事業者間の相互会員紹介プラットフォーム「CONNECT-ship」を中心とした婚活テックの企画開発及び提供を行っています。

当期については、生活品質向上に資するサービスは婚活・結婚周辺サービスの取り扱いを強化し、併せてこれらのサービスを紹介する当社顧客専用サイトのリニューアルを実施しました。なお、当期末時点の取り扱いサービスは62サービス、当社顧客専用サイトの登録者数は5万人以上となり、当社が代理店として行う保険販売の新規保険契約証券数も概ね前期水準での着地となりました。また、「CONNECT-ship」は一部利用事業者の利用会員数が減少したことでお見合い成立件数も減少となりました。なお、「CONNECT-ship」と連携した会員向け婚活パーティーや結婚相談所連盟は順調に推移しました。この結果、売上高は243百万円、営業利益は56百万円となりました。

<同事業の主要指標>

	2023年 3月期	2024年3月期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
(ライフ分野)						
新規保険契約証券数	546件	125件	134件	144件	139件	542件
(テック分野)						
CONNECT-ship 利用会員数(期末)	30,488名	30,694名	30,467名	29,059名	28,811名	28,811名
CONNECT-ship お見合い成立件数	286,593件	65,874件	63,284件	60,140件	57,072件	246,370件
CONNECT-ship 利用事業者数	12社	12社	12社	12社	12社	12社

(注) 上表のCONNECT-ship利用会員数(期末)は、当社結婚相談所の利用会員数を含んでいます。

(地方創生事業)

主に地方自治体向け婚活支援（婚活支援システム「parms」の提供、婚活支援センターの運営、各種イベント・セミナーの開催等）を行っています。

当期については、北海道からオンライン婚活サポートセンターの委託業務、東京都「結婚支援マッチング事業支援業務」の事業プロモーターから交流イベント、AIによるマッチング、WEBによる個別相談等に係る支援業務、兵庫県から出会いサポートセンター運営業務を新たに受託しました。これらにより、婚活支援システムの提供数は12都府県、婚活支援センターの運営受託数は6都道府県、各種イベント・セミナーの受託件数は63件となりました。この結果、売上高は217百万円、営業利益は24百万円となりました。

<同事業の主要指標>

	2023年 3月期	2024年3月期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
婚活支援システム 提供都道府県（期末）	11府県	11府県	12都府県	12都府県	12都府県	12都府県
婚活支援センター運営 受託都道府県（期末）	3府県	4道府県	5都道府県	5都道府県	6都道府県	6都道府県
イベント・セミナー 受託件数	45件	48件	9件	2件	4件	63件

(注) 上表の婚活支援システム提供都道府県及び婚活支援センター運営受託都道府県は期末時点での提供・受託件数（見込み含む）です。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べ163百万円減少し、4,858百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ248百万円増加し、2,559百万円となりました。主な要因は、現金及び預金373百万円の増加及び1年内返還予定敷金90百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ411百万円減少し、2,298百万円となりました。主な要因は、のれん152百万円の減少、ソフトウェア116百万円の減少及び投資有価証券101百万円の減少によるものです。

(負債)

当事業年度末の負債は、前事業年度末に比べ167百万円減少し、4,709百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ119百万円増加し、2,368百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金140百万円の増加によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ286百万円減少し、2,341百万円となりました。主な要因は、長期借入金299百万円の減少によるものです。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べ3百万円増加し、149百万円となりました。主な要因は、資本剰余金804百万円の減少及び利益剰余金808百万円の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は1,691百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、558百万円となりました。これは主に、税引前当期純損失9百万円、減価償却費228百万円及びのれん償却額152百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、8百万円となりました。これは主に、敷金の回収による収入104百万円及び無形固定資産の取得による支出73百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、193百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出159百万円

及び短期借入金の純減額26百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

2025年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響は縮小する一方、物価上昇や金融引き締めなどが当社業績に一定程度影響を及ぼす可能性があり、これらを前提に下表のとおりとしています。

<2025年3月期業績予想>

	2024年3月期	2025年3月期				
		上半期	下半期	通期	通期増減額	通期増減率
売上高	5,598百万円	2,794百万円	3,605百万円	6,400百万円	+801百万円	+14.3%
営業利益	77百万円	△97百万円	297百万円	200百万円	+122百万円	+158.7%
経常利益	27百万円	△120百万円	270百万円	150百万円	+122百万円	+450.7%
当期純利益	3百万円	△120百万円	270百万円	150百万円	+146百万円	—

(注) 当期純利益の通期増減率は、1,000%以上となるため、記載しておりません。

当社は、2025年3月期からの3か年を持続的成長に向けた基盤構築の期間と位置づけ、競争力及び生産性の強化、人的資本及び財務資本の強化、社会との共生推進に取り組んでいきます。とりわけ、主力事業である婚活事業及びカジュアルウェディング事業では、2025年3月期よりブランド認知拡大に向けた広告強化、新規出店等による展開エリア拡大、ITやDXによる業務革新に尽力していきます。また、これらの取り組みにより、婚活事業では2025年3月期の新規入会者数5,536名（前期比20.3%増）、在籍会員数（期末）8,707名（前期末比6.7%増）を見込んでいます。併せて、カジュアルウェディング事業では2025年3月期の成約件数8,306件（前期比24.2%増）、施行件数7,242件（前期比21.5%増）を見込んでいます。

なお、2025年3月期からの3か年の業績目標については下表のとおりであり、事業毎の業績目標や取り組み等の詳細については、2024年5月17日開催予定の「2024年3月期 決算説明会」の資料内にて開示予定です。

<中期経営計画業績予想（2025年3月期—2027年3月期）>

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
売上高	6,400百万円	7,300百万円	7,700百万円
営業利益	200百万円	600百万円	900百万円
営業利益率	3.1%	8.2%	11.7%

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,318,397	1,691,554
売掛金	717,410	722,327
有価証券	—	30,000
貯蔵品	2,536	1,986
前払費用	109,570	119,699
その他	205,705	30,531
貸倒引当金	△41,730	△36,157
流動資産合計	2,311,891	2,559,942
固定資産		
有形固定資産		
建物	803,216	780,208
減価償却累計額	△287,591	△297,217
建物（純額）	515,624	482,990
工具、器具及び備品	258,987	226,530
減価償却累計額	△228,739	△212,947
工具、器具及び備品（純額）	30,248	13,582
その他	60,163	60,059
減価償却累計額	△46,286	△52,462
その他（純額）	13,877	7,596
有形固定資産合計	559,750	504,170
無形固定資産		
のれん	1,223,024	1,070,146
ソフトウェア	464,493	348,352
ソフトウェア仮勘定	18,194	19,868
その他	4,624	4,124
無形固定資産合計	1,710,337	1,442,492
投資その他の資産		
投資有価証券	101,750	—
関係会社株式	5,000	5,000
長期貸付金	127,664	127,664
敷金	330,736	329,671
その他	2,615	17,628
貸倒引当金	△127,664	△127,664
投資その他の資産合計	440,102	352,299
固定資産合計	2,710,189	2,298,962
資産合計	5,022,080	4,858,904

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	139,722	147,762
短期借入金	869,936	843,075
1年内返済予定の長期借入金	808,091	948,337
未払金	209,921	158,689
未払消費税等	50,468	50,438
未払法人税等	4,779	3,509
その他の引当金	262	812
その他	165,384	215,513
流動負債合計	2,248,566	2,368,138
固定負債		
長期借入金	2,384,238	2,084,538
資産除去債務	200,896	243,316
その他	42,680	13,340
固定負債合計	2,627,815	2,341,196
負債合計	4,876,382	4,709,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,201	44,402
資本剰余金		
資本準備金	201	402
その他資本剰余金	906,064	101,355
資本剰余金合計	906,265	101,757
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△804,708	3,469
利益剰余金合計	△804,708	3,469
自己株式	△59	△59
株主資本合計	145,698	149,569
純資産合計	145,698	149,569
負債純資産合計	5,022,080	4,858,904

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,988,722	5,598,503
売上原価	890,320	1,664,293
売上総利益	3,098,402	3,934,210
販売費及び一般管理費	3,137,584	3,856,907
営業利益又は営業損失(△)	△39,182	77,303
営業外収益		
受取利息	3,637	1,925
貸倒引当金戻入額	—	1,307
その他	130	412
営業外収益合計	3,767	3,646
営業外費用		
支払利息	36,982	36,469
支払手数料	41,337	16,378
その他	937	862
営業外費用合計	79,257	53,710
経常利益又は経常損失(△)	△114,671	27,238
特別利益		
助成金収入	128,639	27,657
抱合せ株式消滅差益	127,039	—
その他	524	—
特別利益合計	256,204	27,657
特別損失		
減損損失	96,172	64,290
臨時休業等による損失	221,090	—
貸倒損失	650,000	—
特別損失合計	967,262	64,290
税引前当期純損失(△)	△825,729	△9,394
法人税、住民税及び事業税	3,711	3,509
法人税等調整額	△24,732	△16,373
法人税等合計	△21,020	△12,864
当期純利益又は当期純損失(△)	△804,708	3,469

売上原価明細書

区分	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
婚礼会場費	445,862	50.1	636,445	38.2
婚礼・フォトスタジオ衣装費	82,809	9.3	347,679	20.9
その他	361,647	40.6	680,168	40.9
売上原価	890,320	100.0	1,664,293	100.0

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	44,000	—	1,144,198	1,144,198	△388,124	△388,124
当期変動額						
新株の発行 (新株 予約権の行使)	201	201	—	201	—	—
新株の発行	74,994	74,994	—	74,994	—	—
減資	△74,994	△74,994	149,989	74,994	—	—
欠損填補	—	—	△388,124	△388,124	388,124	388,124
当期純利益	—	—	—	—	△804,708	△804,708
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	201	201	△238,134	△237,933	△416,584	△416,584
当期末残高	44,201	201	906,064	906,265	△804,708	△804,708

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計		
当期首残高	△59	800,015	—	—	—	800,015
当期変動額						
新株の発行 (新株 予約権の行使)	—	402	—	—	—	402
新株の発行	—	149,989	—	—	—	149,989
減資	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	△804,708	—	—	—	△804,708
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	△654,317	—	—	—	△654,317
当期末残高	△59	145,698	—	—	—	145,698

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	44,201	201	906,064	906,265	△804,708	△804,708
当期変動額						
新株の発行 (新株 予約権の行使)	201	201	—	201	—	—
新株の発行	—	—	—	—	—	—
減資	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	△804,708	△804,708	804,708	804,708
当期純利益	—	—	—	—	3,469	3,469
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	201	201	△804,708	△804,507	808,178	808,178
当期末残高	44,402	402	101,355	101,757	3,469	3,469

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計		
当期首残高	△59	145,698	—	—	—	145,698
当期変動額						
新株の発行 (新株 予約権の行使)	—	402	—	—	—	402
新株の発行	—	—	—	—	—	—
減資	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	3,469	—	—	—	3,469
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	3,871	—	—	—	3,871
当期末残高	△59	149,569	—	—	—	149,569

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純損失 (△)	△9,394
減価償却費	228,303
のれん償却額	152,878
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	709
その他の引当金の増減額 (△は減少)	549
受取利息	△1,925
支払利息	36,469
助成金収入	△27,657
減損損失	64,290
営業外支払手数料	16,378
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,917
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,796
前払費用の増減額 (△は増加)	△6,010
前払金の増減額 (△は増加)	4,131
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,039
未払金の増減額 (△は減少)	△33,894
未払費用の増減額 (△は減少)	18,413
預り金の増減額 (△は減少)	11,807
預け金の増減額 (△は増加)	66,780
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30
前受金の増減額 (△は減少)	56,051
その他	783
小計	584,554
利息の受取額	3,442
利息の支払額	△36,469
助成金の受取額	27,657
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,779
営業外支払手数料の支払額	△16,378
営業活動によるキャッシュ・フロー	558,027

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△33,124
無形固定資産の取得による支出	△73,046
有価証券の償還による収入	71,750
資産除去債務の履行による支出	△46,880
敷金の差入による支出	△18,424
敷金の回収による収入	104,961
事業譲渡による収入	2,400
その他	766
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,402
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△26,860
長期借入金の返済による支出	△159,453
リース債務の返済による支出	△7,361
新株予約権の行使による株式の発行による収入	402
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,273
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	373,156
現金及び現金同等物の期首残高	1,318,397
現金及び現金同等物の期末残高	1,691,554

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主たる事業内容別に「婚活事業」、「カジュアルウェディング事業」、「ライフ&テック事業」、「地方創生事業」に分類し、当該事業を報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、報告セグメントの「テック事業」「ライフスタイル事業」を統合し「ライフ&テック事業」とし、「法人・自治体向け事業」を法人向け事業の譲渡に伴い「地方創生事業」としており、従来の「婚活事業」、「カジュアルウェディング事業」、「テック事業」、「ライフスタイル事業」、「法人・自治体向け事業」の5区分から、「婚活事業」、「カジュアルウェディング事業」、「ライフ&テック事業」、「地方創生事業」の4区分に変更しております。

(3) 各報告セグメントに属するサービスの種類

各報告セグメントに属する主要なサービス等は、それぞれ次のとおりであります。

報告セグメント	主要サービス等
婚活事業	付加価値の高い結婚相談所の運営、 婚活パーティーの企画開発及び運営、 オンライン婚活サービス（アプリ完結型結婚相談所等）の企画開発及び運営等
カジュアルウェディング事業	カジュアルな挙式披露宴、少人数挙式、 フォトウェディング、結婚式二次会のプロデュース等
ライフ&テック事業	成婚後の生活品質向上に資するサービス（保険販売、金融・不動産紹介等）、 婚活事業者間の相互会員紹介プラットフォームを中心とした婚活テックの企画開発及び提供等
地方創生事業	地方自治体向け婚活支援（婚活支援システムの提供、婚活支援センターの運営、各種イベント・セミナーの開催等）等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、（重要な会計方針）における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	婚活事業	カジュアルウ ェディング事 業	ライフ&テッ ク事業	地方創生事業	計		
売上高							
顧客との契約か ら生じる収益	2,106,255	3,042,245	231,233	217,761	5,597,496	1,006	5,598,503
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売 上高	2,106,255	3,042,245	231,233	217,761	5,597,496	1,006	5,598,503
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10,935	5,053	11,973	—	27,962	△27,962	—
計	2,117,191	3,047,298	243,207	217,761	5,625,459	△26,955	5,598,503
セグメント利益又 は損失(△)	529,575	△43,466	56,357	24,985	567,452	△490,149	77,303
セグメント資産	815,967	1,780,647	71,942	285,140	2,953,698	1,905,206	4,858,904
その他の項目							
減価償却費	107,226	85,883	5,686	15,298	214,095	14,208	228,303
のれん償却額	—	152,878	—	—	152,878	—	152,878
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	△72,404	△77,862	16,895	△2,371	△135,743	△34,803	△170,546

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△490,149千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用の主な内容は、報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- (2) セグメント資産の調整額1,905,206千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主な内容は、余剰運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- (3) その他の項目の調整額△20,595千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額及びその減価償却費であります。全社資産の増加額の主な内容は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、製品・サービスの種類を基礎として報告セグメントを構成しており、詳細については「セグメント情報」3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報の「外部顧客への売上高」に記載のとおりであります。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	財務諸表計上額
	婚活事業	カジュアルウェディング事業	ライフ&テック事業	地方創生事業	計		
減損損失	8,272	64,286	—	—	72,558	△8,267	64,290

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	財務諸表計上額
	婚活事業	カジュアルウェディング事業	ライフ&テック事業	地方創生事業	計		
当期償却額	—	152,878	—	—	152,878	—	152,878
当期末残高	—	1,070,146	—	—	1,070,146	—	1,070,146

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	5.55円	5.69円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△32.19円	0.13円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	0.13円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	145,698	149,569
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	145,698	149,569
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	26,258,971	26,264,971

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△804,708	3,469
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△804,708	3,469
期中平均株式数(株)	24,998,628	26,264,096
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	83,942
(うち新株予約権)(株)	—	(83,942)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大に起因し、2021年3月期から3年連続で営業損失を計上しました。その後、2024年3月期に営業損失は解消したものの、2024年3月末時点での現預金残高が1,691百万円であるのに対して同日以降1年以内に返済期日が到来する借入金の残高が1,791百万円と多額にのぼることから、引き続き、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

しかしながら、今般公表した第二次中期経営計画のとおり、当社は2025年3月期から2027年3月期の期間においていずれも営業利益を計上できる見込みであり、これによって主要取引銀行からの継続的支援が受けられる見通しであることから、当社では継続企業の前提に関する不確実性は認められないと判断しております。